別紙２

グリーンインフラ創出促進事業　応募書類様式

１．応募時は様式１～５を参考にし、以下の書式に従って記載してください。

２．用紙は、Ａ４判を利用し、左とじにしてください。

３．応募書類は、日本語で作成し、指定した枚数を大幅に超えることや枠をはみ出して作成することのないようお願いします。また、文字の大きさについては10.5pt以上としてください。

４．提出は、応募書類１式、審査用書類１式（固有名詞削除版）を電子ファイル(PDF版（固有名詞削除版も）) としE-mailにて提出願います。なおファイル容量は原則10MB以下としてください。

※青字は書類作成時に削除してください

様式－１

公募の名称：グリーンインフラ創出促進事業にかかる募集

標記の募集について、応募書類を提出致します。

令和　　年　月　日

国土交通省　総合政策局　環境政策課

グリーンインフラ創出促進事業担当　御中

提出者は「契約代表者」と同じ者にしてください。

提出者） 住所

電話番号

会社名

代表者　役職名　氏名

作成者は「担当責任者」と同じ者にしてください。

作成者） 担当部署

氏名

FAX

E-mail

様式－２

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **グリーンインフラ創出促進事業公募　応募様式** | | | | | | | | |
| ①応募開発技術 | 公募対象技術Ⅰ～Ⅲの内、該当するものを記載してください。 | | | | | | | |
| ②応募名称 | 自由に命名してください。以後、これが提案研究の固有名詞として扱われます。研究の内容を簡潔に表す名称とし、地方公共団体名等の固有名詞は入れないでください。 | | | | | | | |
| ③開発技術の概要 | 導入可能性、実現可能性、技術革新性の視点にも着目して記載してください。  （背景・課題）  （目的）  （取組内容・成果）  　2～3行で、一般の方にもわかるように簡潔に記載してください。  受注者への帰属を希望する知的財産がある場合、記載してください。  詳細については様式-３に記載ください。 | | | | | | | |
| ④実証フィールド | 現地での実証フィールド提供者の協力が得られることを確認の上記載ください。  【場所】  ○○県○○市○○地区  【規模】  対象施設数　〇ヶ所、対象面積　〇m2  【実証フィールド担当者・連絡先】  ＜地方公共団体の場合＞○○県○○市○○課　○○○○　TEL×-××-××  ＜民間企業等の場合＞○○株式会社○○部○○課 ○○○○ TEL×-××-×× | | | | | | | |
| ⑤研究代表者 | 氏名 | ○○○○（A-1） | | | 年齢 | 職名 | |  |
|  | 専門分野 | |  |
| 所属機関  （連絡先） | ○○株式会社（A社） | | | | | | |
| ⑥開発技術の目標と計画 | 目標設定（開発目標）とその成果の内容を具体的に記載してください。また、その目標を達成するために、どのような研究を行うのか、具体的かつ詳細に記載してください。 | | | | | | | |
| ⑦実施体制 | 適正な人員配置による実施体制であることを図示などによりわかりやすく記載してください。 | | | | | | | |
| ⑧共同研究者  （共同体を構成する場合は各機関の代表者、担当者も全て記載してください。） | 氏名 | | 年齢 | 所属・役職 | | | 研究分担内容 | |
| ○○○○（A-2） | |  | ○○（A社）・○○課長 | | |  | |
| ○○○○（B-１） | |  | ○○（B社）・○○部長 | | |  | |
| ○○○○（B-2） | |  | ○○（B社）・○○課長 | | |  | |
| ○○○○（C-１） | |  | ○○（C社）・○○課長 | | |  | |
| ○○○○（C-2） | |  | ○○（C社）・○○主任 | | |  | |
| ⑨実証費用  (税抜き､令和５年度) | （千円）　　　　うち、諸経費率　　　　　　（％） | | | | | | | |

※要約版であり、全体で２枚以内となるように記載ください。詳細については、様式－３に記載ください。

様式－２（補足）

様式－２、様式－５　を作成するにあたり、下記にご留意ください。

たとえば、○○株式会社（研究代表者）、●●株式会社、△△大学、■■市町村で共同研究体を構成される場合、マスキングをお願いした際に、各資料との突合が見えにくいケースがあります。

○○株式会社（A社）

●●株式会社（B社）

△△大学（C社）

■■市町村（D社）

と記載いただき、マスキングを行う場合は、社名等のみを消していただきますようお願いいたします。

以下がマスキングの例です。

○○株式会社（A社）

●●株式会社（B社）

△△大学（C社）

■■市町村（D社）

同様に、研究に従事する者につきましても、同様の記載をしてください。

たとえば、

国土　太郎（A-1）　←　A-1とは、A社の研究従事者の背番号となります。

国土　次郎（A-2）

土国　三郎（B-1）　←　B社の研究従事者の一人目を意味します。

下水　太郎（C-1）　←　C社の研究従事者の一人目を意味します。

であれば、マスキングを行うと、

国土　太郎（A-1）

国土　次郎（A-2）

土国　三郎（B-1）

下水　太郎（C-1）

となり、マスキングをしても、いずれの社の職員かが判明します。

資料作成にあたって、ご留意いただきますようお願いいたします。

様式－３

グリーンインフラ創出促進事業計画（例）

＜実施フロー＞

|  |
| --- |
| ○○○○の開始  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※おおよその従事期間（○○日間）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を記述）  ○○○○の調整・打合せ  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）  ○○○○の準備  ○○○○の準備  ○○○○の準備  　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）  ○○○○の開発  ○○○○の実験  ○○○○の分析  　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）  ○○○○の検証  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）  とりまとめ  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※） |
|  |

様式－３

＜工程計画＞

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 令和５年度 | | | | 特記事項 |
| ○月 | ○月 | ○月 | ○月 |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間）  （◇◇◇に再委託） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| 報告書とりまとめ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

注）グリーンインフラ創出促進事業の一部を再委託などにより実施する場合は、各項目においてその範囲が明確に分かるよう区分してください。

様式－３

＜開発技術の詳細＞

|  |  |
| --- | --- |
| ①背景・課題  ②目的  ③取組内容・成果 | 開発技術の内容について、３ページ程度で具体的に記述してください。  グリーンインフラ設備の整備（管理）等を行う主体の課題とニーズに対し、今回の開発技術がどのように解決するものか、具体的に記載ください。  取組内容について、まず、開発技術の概況について記載してください。次に実施フロー及び工程計画において示されている実証項目ごとに、具体的な目標設定（地方公共団体の課題やニーズに対して適切な設定）、実証方法等（場所や作業内容、検討項目・検体数、測定頻度・回数、取得できるデータ数等）について、図表・概念図等を使って判りやすく簡潔に記載してください。  共同体を構成している場合は、どの構成組織が何を実施するかがわかるように記載してください。なお、実証計画全体が網羅されていることに留意ください。  （別紙　公募要領　「8.実施者の選定」　に留意して記述してください。）  【記入例】（イメージ）  <調査検討>  ⚫雨水浸透基盤の多様な効果、　社会的なインパクトを整理するためのロジックモデルの構築  ⚫雨水浸透基盤の実用化に向けて、当該技術の調査・計画・設計・維持管理を実施する際の技術的な配慮事項をとりまとめる。  <小規模実証>  ⚫雨水浸透基盤の効果を検証するために、４つの区画を試験的に設置する。  ⚫効果測定にあたっては、自治体、地元企業、地域住民など多様な主体が参画する形で実施する。    雨水浸透基盤からの蒸発散、緑陰形成による気温低減効果、風の道の形成、利用者への影響等を調査するため、下記の効果測定を実施。  　・サーモグラフィーによる温度計測　・風向計の設置による風向計測  　・利用者へのアンケート調査　　　　・レーザーを活用した人流調査  　・水位計を活用した雨水浸透基盤の機能計測　等  ※各項目の検体数、測定頻度・回数、取得できるデータ数等を記載すること |

様式－４

令和５年度の必要経費概算

　※　研究に必要な経費の概算額を、（参考資料）委託研究処理科目別区分表（次ページ）に定める科目区分に従って、記載してください。

　※　令和5年度の必要経費のみについて作成してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 金額（円） | 積　算　内　訳（概略） |
| 人件費 | ○○,○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。 |
| 諸謝金 | ○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。 |
| 旅費交通費 | ○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。 |
| 庁　　　費  （下記費目別に記載）   1. **備品費** 2. 消耗品費 3. 借料及損料 4. 印刷製本費 5. 通信運搬費 6. 光熱水料 7. 賃金 8. 会議費 9. 雑役務費 | **0**  ○,○○○  ○○○  ○○○  ○○○  ○○○  ○,○○○  ○○  ○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。  **※ 備品費は本事業では計上不可です。**  **※ 小規模実証における計測器等のリースに係る経費は、「借料及び損料」に計上してください。** |
| 再委託費 | ○,○○○ |  |
| 間　接　費  　　　諸　経　費 | ○○○,○○○  （諸経費率：○○％） | ※ 諸経費は（直接費―再委託費）×諸経費率より算出した額とします。  ※ **なお、諸経費率は1０％の範囲内とします。** |
| 合　　　　計  （税込み） | ○,○○○,○○○ |  |

様　式－４

（参考資料）

　委託研究処理科目区分表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目区分 | | | 内　訳 |
| 直接費 | | | 委託研究に直接必要な人件費、諸謝金、旅費交通費、庁費です。 |
|  | 人件費 | | 委託研究に直接従事する研究担当者（大学等の職員※・招聘研究者、公益法人の職員又は民間会社の社員）の給与及び法定福利費です。  ※交付金等により国から給与が支給されている国立大学法人等の職員を除きます。 |
| 諸謝金 | | 委託研究に直接協力する者に対する報酬及び謝金で、時間数、人数及び回数を計上します。 |
| 旅費交通費 | | 委託研究に直接従事する研究担当者の調査などに要する費用で、出発点と旅行先を記し、人数及び回数を計上します。根拠については、インターネットでの検索結果等を添付ください。 |
| 庁費 | | 委託研究に必要な次の（1）～（７）の項目について計上します。 |
|  | （1）備品費 | **本研究では計上不可です。** |
|  |
| （2）消耗品費 | 文具、材料、機器具等に区分して計上します。また、金額・数量及び研究計画における各研究項目毎との関係が分かる資料を添付してください。 |
| （3）借料及損料 | 機械借上げ等の使用数量及び日時数を計上します。**小規模実証における計測器等のリースに係る費用は、これに計上します。** |
| （4）印刷製本費 | 報告書、資料等に区分し、数量を計上します。 |
| （5）通信運搬費 | 電報電話料、郵便料、運搬費に区分して計上します。 |
| （6）光熱水料 | 電気料、ガス料及び水道料に区分して計上します。 |
| （7）賃金 | 非常勤職員（アルバイト等）の延員数を計上します。 |
| （8）会議費 | 会場借上げ等の使用回数又は日時数を計上します。 |
| （９）雑役務費 | 上記の各項目以外に、委託研究の実施に直接必要な経費を計上します。 |
| 再委託費 | | 研究に必要な調査、試験、実験、計算、機械器具等の修理、その他の雑役務に区分して、それぞれ一式金額で計上します。ただし、備考として用途を簡潔に記述、または、**別紙で｢内訳書（専門業者の見積書等）｣を添付してください。** |
| 間接費 | | | 委託研究処理に必要な経費のうち直接費以外の諸経費について計上します。  諸経費は（直接費―外注費）×諸経費率より算出した額とします。  なお、諸経費率は1０％の範囲内とします。 |

注）共同研究者の所属機関は、契約書（案）第３条に規定する｢第三者｣には該当しません。

様式－５

研　究　履　歴

※研究に参加する人数全員の様式を作成ください。

１．氏名・年齢（生年月日）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな  氏　　　名 | 年齢 | 生年月日（西暦） |
| こくど　たろう  国土　太郎（A-1） | ○○ | １９○○年○月○○日 |

令和4年4月1日時点の年齢

２．（所属機関がある場合）所属機関名・部署名・職名・連絡先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属機関名  （勤務先） | ○○○ | 部署名 | ○○部　○○課 |
| 職　　名 | ○○ |
| 連絡先  (勤務先) | （〒○○○－○○○○）  東京都港区○○５－３－２ | | TEL：０３-○○○○-○○○○ |
| FAX：０３-○○○○-１２３４ |
| E-mail：t.kokudo@oo.ｊｐ |

３．最終学歴

|  |
| --- |
| ○○○大学大学院　○○研究科博士前期課程○○工学専攻修了（修士）  ○○大学　○○学部○○工学科卒業（学士）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |

４．研究歴（主な職歴と研究内容）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　月 | 職　歴 | 研究内容 |
| ２０１○．４  ２０１○．８ | ○○○大学助教  ○○○大学准教授 | ○○に関する研究  ○○○○検証研究 |

様式－５

５．受賞歴、表彰歴、資格

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 | 受賞名・内容 |
| ２０１○．８  ２０１○．８  ２０１○．９ | ○○学会「○○○賞」  技術士（技術部門：上下水道）  技術士（技術部門：○○）　等 |

６．研究成果等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ・主な研究論文及び著書 | | |
| 1) | | ○○○、○○論文報告集 |
| ・特許等取得件数：　○○　件 | | |
| １） | ○○○ | |
| ・研究成果 | | |
| １） | 研究報告「○○に関する研究報告」201○年○月 | |

７．他の競争的資金制度、補助金等からの助成の有無

（財団法人の研究助成事業等、国以外が行っている助成制度も含めます。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究制度名 | 研究開発課題名(と役割) | 研究資金の額  （単位：百万円） | 研究期間 |
| ○○制度  （△△省） | ○○に関する研究開発  （研究代表者） | △△ | Ｈ○○～Ｈ○○ |

申請者氏名　国土　太郎（A-1）